

さくらそう通信 NO17

2021・3・15

2011・3・11 東日本大震災の発生から10年を迎えた今年、テレビや新聞で現状が大々的に報道されました。それで犠牲者や被災地の状況に思いをはせてみると、2万人以上の命、そして多くの故郷が奪われてしまったこと。静岡のこの地に生活している私たちは、この惨状を忘れないで被災地のさらなる復興を願わずにられません。かの地にもさくらそうの自生地があったのでしように。

さて、去年からのコロナ禍に見舞われ、人の交流も途絶えがちの現在ですが、それぞれのお宅でさくらそうがひっそりと春を迎えていることでしょう。 2017年・2月 会が発足して4年 会長・河崎 事務局・鈴木 会員・清水義信 清水宏明 渡辺文代 5名です。今年も皆さんのお宅に写真撮影に出かけますのでよろしくお願ひします。

我が庭では春が1か月早く訪れてしまったようで、ショウジョウバカマ、雪割草、姫リュウキンカ、シデコブシ、そして節分草は結実し種がこぼれるのもまじかです。

椿も、暖かくなったので、色鮮やかに大きく咲き初め、4月には蕾もなくなってしまうかと心配です。心楽しい春の訪れ、毎年繰り返される喜び、**さくらそうのお世話も手抜きなく精をだしましよ**う。



3月11日
蕾がふくらんできた



3月13日
色付き始めた

ト伴椿 ぼくはん



ショウジョウバカマ



シデコブシ